

## 平成30年度 自殺予防週間(平成30年9月) 関連事業一覧

項目	内容	期日・場所 [対象等]
自殺予防ポスター掲出	市民に対し自殺対策・自殺予防について広く啓発・啓蒙することを目的に、自殺予防ポスターをJR駅(北九州管内)及び北九州モノレール駅に掲出する。	【予定】 9月1日(土)～ JR駅(北九州管内)及び北九州モノレール駅
自殺未遂者支援者研修 (高齢者編)	高齢者の自殺未遂者をどのように支えていくか、自殺未遂の再発防止に向けて、主に精神疾患の特徴や自殺の危険因子とその評価方法などについて理解し、適切な対応について学ぶことを目的として実施する。 ・主な講師:福岡大学 医学部 精神医学教室 医師 衛藤 暢明氏	9月2日(日) 10:00～16:00 小倉北区馬借1-7-1 北九州市総合保健福祉センター6階 視聴覚室
パネル展	市政情報コーナー(市庁舎1階)においてパネル展示を実施する。	9月3日(月)～10月31日(水)
くらしとこころの総合相談会	複雑・困難な背景を抱える方の相談について、様々な専門職(弁護士、司法書士、精神保健福祉士、臨床心理士)からなる相談員が、受けることで、解決の道筋をたてるため、相談会を開催する。	9月6日(木) 13:00～16:00 小倉北区馬借1-7-1 北九州市総合保健福祉センター 5階 精神保健福祉センター
自殺予防シンポジウム	第39回 北九州いのちの電話 自殺予防シンポジウムを開催する。 テーマ:「子どもの虐待と家族・社会の病理ーさまざまな人権侵害から子どもをどう守るかー」 子どもの虐待などについて、基調講演とシンポジウムで、みなさんと考え合う場にするもの。 ・主なシンポジスト:ルポライター 杉山 春 氏	9月8日(土) 13:30～17:00 戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた 3階 大ホール
電話相談	「こころの健康相談統一ダイヤル」(厚生労働省)に参画 北九州市内の固定電話から全国共通の統一番号(0570-064-556)にかけると、精神保健福祉センターに常設する「自殺予防こころの相談電話」につながる	9月10日(月)～16日(日) 各9:00～17:00 (土日は除く)
関係機関等との連携	関係機関に対し、啓発用ポスター(厚生労働省作成)等を配布・掲載。	9月10日(月)～16日(日)
街頭啓発	朝の通勤時間帯に街頭啓発を実施 【配布物】 ・市民から募集した大切な人や身近な人に届けたい「ひとこと」・苦しいときに救われた「ひとこと」を掲載したメモ帳	9月11日(火) 8:00～9:00 JR小倉駅(小倉城口)
ゲートキーパー研修会	身近な支援者・関係者が早めに自殺のサインに気づき、サポートできる力をつけるということも目的に開催する。 ・講師:㈱ LITALICO ライフネット支援室 室長 浅見 淳 氏	9月14日(金) 14:00～17:30 戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた 83・84会議室
自殺対策支援者研修	うつ状態にある人を専門機関につなぐ前の初期対応の方法「メンタルヘルス・ファーストエイド(うつ病)」を学ぶことを目的に開催する。 ・主な講師:九州大学病院 精神科神経科 講師 加藤 隆弘 氏	9月18日(火) 14:00～17:00 小倉北区馬借1-7-1 北九州市総合保健福祉センター 6階 視聴覚室
図書館との連携	市内の図書館で、パネル展示やリーフレット配付を行う。	9月中 門司、若松、八幡図書館

### 【自殺予防週間とは(厚生労働省HPより抜粋)】

自殺対策を推進するためには、自殺について、誤解や偏見をなくし、正しい知識を普及啓発することが重要です。このため、平成19年6月に閣議決定された「自殺総合対策大綱」において、「9月10日の世界自殺予防デーに因んで、毎年、9月10日からの一週間を自殺予防週間として設定し、国、地方公共団体が連携して、幅広い国民の参加による啓発活動を強力に推進」と定められました。

自殺予防週間は、当該期間中における集中的な啓発事業等の実施を通じて、国民に自殺や精神疾患についての正しい知識を普及啓発し、これらに対する偏見をなくしていくとともに、命の大切さや自殺の危険を示すサイン、また危険に気づいたときの対応方法等について国民の理解の促進を図ることを目的とするものです。